



こんにちは！株式会社のぐちです！4月です。4月1日はエイプリルフール。嘘をついても許される日とされていますが、嘘をつけるのは午前中だけ。午後にネタばらしをして笑って終わろうといった意識の高まりのようです。各企業の公式SNSでもユニークな嘘を発表して話題となります。過去の力作をピックアップしてみました。亀田製菓の苦いパウダーがかかった何ともつらい味覚「ツラターン」。グリコからカラメルとプリン比率が逆になった、その名も「ンチップンリップ」。アース製菓の「モンダミンにんにく味」。ケンタッキーフライドチキンからは24時間出来たての味を楽しめる「カーネルペンダース」などなど・・・あ～幸せ感じるわ～  
それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。

株式会社 のぐち



## 4月の歳時記

「アスパラガス（竜鬚菜）」

春から夏にかけて旬を迎えるアスパラガス。特に始めは甘みが強いといわれています。原産は南ヨーロッパからロシア南部。古代ギリシャ時代から栽培され、ヨーロッパで食用になったのは2000年前くらいから。日本には江戸時代、オランダ人によって観賞用として伝わりました。食用となったのは大正時代からです。アスパラガスには緑色のものと見た目が白いものがありますが、栽培方法の違いによるもので、種類の違いではありません。アスパラガスの穂先には血管を丈夫にし、高血圧や動脈硬化の予防、利尿効果があるルチンが含まれています。さらにアスパラガスはカロチン・ビタミンC、Eによる抗腫瘍作用が期待でき、赤血球を作る葉酸を含んでいるため貧血にも有効です。さらにアスパラガスならではのアスパラギン酸は新陳代謝を促し疲労回復や滋養強壮に役立ちます。普段何気なく食べているアスパラガスですが、かなりの優れものですね。さらに雑学。実はアスパラガスには性別があるのです。私たちが食べているのは、ほとんどが「オス」オスのほうが収穫量が見込まれるからだそうです。ちなみに見分け方は穂先が膨らんでいるか締まっているかだそうです。チャレンジ！

では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、  
笑顔でむかえて下さいね。

## これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

### 「メクボールコンパクト&専用除菌液」

紙幣、伝票を清潔に「めくる」！机や引き出しなど狭いスペースでの設置に最適なコンパクト版が登場。既存製品の「メクボール」から約20%サイズダウン、手狭なスペースに置いても邪魔になりません。中に入れる水の容量は「メクボール」と同じ15mlです。スポンジや海綿のように劣化しないので、長く使えて経済的です。本体を開けるときフタを回して持ち上げる、ツイスト設計を新たに採用しました。閉めるときは角を合わせて、上から押しはめるだけです。本体・フタはS I A A認証の抗菌加工！一般的な環境で細菌類の増殖を抑制します。本体・フタ・ボールまで丸洗いでできるので、いつでも清潔を保てます。別売りのメクボール専用除菌液を使えば、さらに衛生的に使えます。セットで使用する際の専用POPも付いているので「これいいじゃん」ってわけぜひ皆さまも試してみてくださいね。



小売希望価格 メクボールコンパクト 650円（税別）  
メクボール用除菌液 990円（税別）

**スタッフ登場**  
花粉症シーズン真っ只中な今日この頃。自分の鼻も目もアークセル全開で回っています。  
**爆**  
特に今年の飛散予報を見るとこれまで見たこともないような紫色のイガイガマークが：打ち込んでいる自分もそうですが、読んで頂いている方のムズムズも誘ってしまいそうです。  
対症療法はいろいろありますが、個人差があったり薬効も相性があったりと、思ったように改善されないのがもどかしいところ。  
『免疫力を高めよう』という花粉症対策のキャッチフレーズも目や耳にしますが、確かにアレルギー反応は免疫の過剰反応なのでは？と疑問に思ったりもします。個人的な主観ですが、結局は体内からくる反応なわけですから、体を作っている『食』に注意を払うことが重要なように思います。  
花粉症のメカニズムは、ヒスタミンの暴走が原因のようです。ですから、食材からの摂取量を減らしたり、その生成を促す食材を控えたり、抑制する食材を取り入れたらどうなるのかなーと、今シーズンはその対策も取り入れて検証中です。  
CE・鈴木でした